

# 朝和基督教會週報

第百五十一號  
三月八日

發行主任

白石

情

各道本道日發行

## Rohwer Federated Christian Church WEEKLY BULLETIN No 121

Mar. 9, 1945

H. G. Scher, A.R.K.

### ○今週の標語

危を我が名の名に或は我の

或は我の名に或は我の

- 諸聖會演説會内  
○ 婦人會例會一九日(金)夜七時半  
○ 教會堂にて、講話、委員教師  
○ 婦人會事會会一十日(土)  
午後二時、教會堂  
○ 傳道使放會、一十一日(日)夜七時半  
○ 西金飯、一、口令者、  
○ 送款、白石、教師  
○ 聖書研究會、一十三日(火)  
午後二時半、本田由紀にて  
○ 聖經研討會、十四日(水)  
午後二時半、本田由紀にて  
○ 新禮會、十四日(水)  
司令殿にて  
○ 聖經研討會、十五日(木)  
午後二時半、本田由紀にて  
○ 聖經研討會、十六日(金)  
午後二時半、教會堂にて  
○ 預言に係るキリストの御言、  
神原正次  
「我れ律法と預言者を絞つ為に來ぬ事より思ひ至、故に人  
とはあらず。及て成就せん為なり。故に汝等に告ぐ  
天帝の福音往かぬ内に律法の一丘一塹も廢し事無く、愚く  
天主イエス捕へられ給ひた時、鬼よりエヌと偕にありし  
全ふせらるべし。(馬太傳五章十七)」  
二、主イエス捕へられ給ひた時、「鬼よりエヌと偕にありし  
者一人手をうべ劍を抜きて、大聲同の價の耳を打ち  
てえき切り落せり。ここにてエヌ彼等に立ひ給ひ。汝の  
劍を右手に納めよ。左て劍を取る者は劍にて止まざり。  
我れ者か人に謂ひて、十二軍に歸す御便を今あたへらる。  
事能は不と思ひが、若し然モ汝斯くあるべく録しむる聖  
書は如何で成就すべし。(馬太傳廿六章五十一~五四)  
三、人々からそれのつ世界に来らんとする事も思ひて膽を失  
始れば仰て首を上仰す。汝らの贖罪近づけはなり。天  
地は過ゆゆかん、然れど我言は過行く事なし。  
「路加傳  
セ一章廿六、廿七、廿八、廿三)

一、約翰、一、律法と子言者とは旧約聖書の事であり、其

の内にあら御約束及び預言は、一丘の相違はなく、吾の約  
束及び預言は全くさること無しと確信された。天帝の廣滅する  
事ありと皆神の御言の一つも廢る事のないことは主イエス  
語めて十字架の苦難を忍み給ひた主の御約束を信ぬ  
ものはアリスチヤンなり。

三、此れは主の御約束及び主の御言である。吾の約  
束及び預言は全くさること無しと確信された。天帝の廣滅する  
事のないことを主の御算略を信じて待ち望むべきである。  
この事は主の御算略を信じて待ち望むべきである。  
不信異端の多い此世に注意して覺めて信仰に固く立つべ  
きである。

○ 日體學校一一日  
○ 金七枝、午前九時  
○ 學院、才子大者、午前九時  
○ 金大者、才子大者、午前九時  
○ 金大者、才子大者、午前九時

